

NEWS RELEASE

株式会社 名古屋観光ホテル
〒460-8608 名古屋市中区錦一丁目 19 番 30 号
TEL : 052-231-7711 (代表)



2019年4月22日

報道関係各位

名古屋観光ホテル エコマーク「ホテル・旅館 Version2」認定基準で 初の認定施設として認定されました

株式会社名古屋観光ホテル(名古屋市中区錦一丁目 19 番 30 号、代表取締役社長 森本審)は、2019年4月19日付にて公益財団法人日本環境協会が定めるエコマーク商品類型 No. 503 「ホテル・旅館 Version2」認定基準において、初の認定施設として認定されました。

エコマーク「ホテル・旅館 Version2」は、持続可能な開発目標 (SDGs) やパリ協定などの国際的な枠組みにおける持続可能性や、おもてなしにおける環境配慮の観点を付加した取り組みを評価する内容となっており、この基準に対し名古屋観光ホテルが名古屋地域で 80 年を超える歴史のあるホテルとして、社内で確立した P D C A をもとに丹念に環境への取り組みを実施し、各取り組みが質の高いレベルで実施されていた点と、環境教育に関して、従業員にもわかりやすい資料の作成、記述式で簡易テストを行うなどの工夫がみられた点が評価されました。

また、グループ企業の株式会社ナゴヤキャッスルが運営するホテルナゴヤキャッスル、キャッスルプラザの 2 ホテルも同時に認定施設として認定されました。

※エコマーク「ホテル・旅館 Version2」認定施設については、別紙を参照願います。

エコマークの認定を取得するにあたり、6 つの評価カテゴリーが定められています。このたび、名古屋観光ホテルはすべてのカテゴリーにおいて 2 ポイント以上獲得しております。名古屋観光ホテルが取り組んでいる具体的な取り組みの一例をカテゴリー別にご紹介します。

■評価カテゴリー：おもてなしにおける環境配慮

ライトダウンキャンペーンへの参加

環境省により始められた取組み「CO2 削減/ライトダウンキャンペーン」に、開始当初より積極的に参加し、夏至、クールアース・デー (7/7) の両日、屋外照明 (看板・サイン・外灯など) を消灯し、地球温暖化防止のための電力削減に協力しています。

■評価カテゴリー：客室備品・設備の環境配慮

客室で使用する備品(シーツなどのリネン類・タオル類・パジャマ)に環境配慮型製品を使用

シーツなどのリネン類・タオル類・パジャマは世界で最も厳しい基準をもつといわれるオーガニック認証機関「コントロールユニオン」から、認証を受けた製品を採用しています。

■評価カテゴリー：省エネルギー

LED照明器具を導入

ホテル玄関大庇、1 階ロビー、2 階宴会場、地下駐車場、客室内等の照明を、順次 LED 照明に変更し、省エネルギー推進に取り組んでいます。コンフォートフロア (6 階~11 階) 客室内の照明については、全て LED 照明を使用しています。

今回のエコマークの取得により、中部の迎賓館として国内外の賓客や各界の V I P をお迎えしてきたホテルとして地域貢献の役割を果たせたと自負しております。今後もおもてなしにおける環境配慮のホテルとして国際的な枠組みの中で取り組みを継続してまいります。

●本件に関する取材のお問合せ先

【一般の方からのお問い合わせ先】

株式会社名古屋観光ホテル
総務部 総務課 阪口、佐藤
TEL : 052-231-7940 (直通) FAX : 052-231-7718
E-mail : info@nagoyakankohotel.co.jp

【報道関係者様からのお問い合わせ先】

株式会社名古屋観光ホテル
総支配人室 マーケティング課 岡田、西川
TEL : 052-231-7663 (直通) FAX : 052-231-7963
E-mail : info@nagoyakankohotel.co.jp





報道資料 / Press Release [リリース No.19-001]

(公財)日本環境協会 エコマーク事務局

2019年4月22日

報道関係者各位

エコマーク「ホテル・旅館 Version2」認定基準で 初の認定施設が誕生しました！

(公財)日本環境協会 エコマーク事務局(住所:東京都千代田区、理事長:森島 昭夫)は、ホテル・旅館のエコマーク認定基準を全面的に改定し、2019年3月1日付で制定した新たな基準「ホテル・旅館 Version2」において、初の認定施設(4社、5施設)が誕生しましたので、お知らせします。

◇エコマーク「ホテル・旅館 Version2」 認定施設について

近年、「持続可能な開発目標(SDGs)」や「パリ協定」等の国際的な枠組みがクローズアップされており、国内でも食品ロス対応への要請の高まりや、省エネ法のベンチマーク制度の対象にホテル業が追加されるなど、宿泊施設の経営においても『環境対応』を始めとした統合的な取り組みが求められる時代となりました。また、東京オリンピック・パラリンピックや大阪万博などの開催によるインバウンドの急増、外国人労働者の受入拡大など、訪日外国人に向けた情報発信の重要性も増しています。

こうした動向を背景に、従来の「ホテル・旅館 Version1」認定基準を全面的に見直し、新バージョンとして「ホテル・旅館 Version2」認定基準を2019年3月1日付にて制定しました。新バージョンでは基準項目を6つの評価カテゴリー(※1)に分け、SDGsなどの持続可能性の観点をより一層、明確化し、省エネ・節水などの基本的な環境対策に加えて、食品ロス削減、地域や社会への貢献など多様な取り組みを評価する内容になっています。

この新バージョンの認定基準に基づいて、多岐にわたる環境への取り組みが高いレベルで実施されているホテル・旅館として、初めてのエコマーク認定施設(4社・5施設)が2019年4月19日付で誕生しました。これにより、エコマーク認定ホテル・旅館はVersion1での認定施設7施設に加えて、合計12施設となりました。今後、エコマーク認定のホテル・旅館が普及することで事業者の環境配慮の取り組みが進むとともに、その宿泊施設を利用する消費者を巻き込んだ国民全体での環境意識の高まりへ広がっていくことが期待されます。

表.エコマーク商品類型 No.503「ホテル・旅館 Version2」認定施設一覧

会社名	認定番号	認定施設名
株式会社名古屋観光ホテル	19 503 001	名古屋観光ホテル (愛知県名古屋市) https://www.nagoyakankohotel.co.jp/
株式会社ナゴヤキャッスル	19 503 002	ホテルナゴヤキャッスル (愛知県名古屋市) https://www.castle.co.jp/hnc/ キャッスルプラザ (愛知県名古屋市) http://www.castle.co.jp/plaza/
株式会社戸田家	19 503 003	戸田家 (三重県鳥羽市) https://www.todaya.co.jp/
株式会社ホテルグランヴィア岡山	19 503 004	ホテルグランヴィア岡山 (岡山県岡山市) https://granvia-oka.co.jp/

(※1) 6つの評価カテゴリーは下記のとおりです。認定を受けた施設には以下のエコマークが表示されます。

<評価カテゴリー>

1. おもてなしにおける環境配慮
2. 客室備品・設備の環境配慮
3. 廃棄物削減・リサイクル
4. 省エネルギー
5. 節水
6. 施設運営における全般的な環境配慮

規模や業態による多種多様な取り組みを評価するため、ポイント制による評価を採用。

必須項目の全てと選択項目 25ポイント以上で認定がされます。

2ポイント以上を満たしたカテゴリーについて、右図のピクトグラムを施設内や宣伝広告に表示し、環境への取り組みを消費者にアピールすることができます。



認定基準や認定施設の一覧などについては、エコマーク事務局のウェブサイトで公開しています。
(<https://www.ecomark.jp/service/hotel/>)

以上

<本件に関するお問い合わせ>

公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局 基準・認証課

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMMビル 5階

TEL: 03-5829-6284 E-mail: info@ecomark.jp

※事務所移転のため、2019年4月22日から上記の住所、電話番号に変わりました。

<エコマークについて>

国際標準化機構の規格 ISO14024「タイプ I 環境ラベル制度」に基づく認定制度です。1989年に創設され(公財)日本環境協会が運営しています。環境への負荷が少ないなど、環境保全に役立つと認められる商品やサービスにつけられ、消費者が暮らしと環境の関係を考え、環境保全の面でより良い商品を選びやすくすることを目的としています。エコマーク事務局ホームページでは、最新情報を随時アップしています。<https://www.ecomark.jp/>